



To Club Presidents and Secretaries in DISTRICT 2790

ガバナー月信



2011-12

2011年9月号
発行 / 2011年9月1日

COPY FOR MEMBERS



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



新世代のための月間にちなんで

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 山田 修平

年齢30歳までの若い人の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を充てるために、9月は「新世代のための月間」に指定されています。

ロータリーは、以前から新世代に対するプログラムに力を入れてきました。インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換がこれにあたります。

これらのプログラムの内、第2790地区では、特にローターアクト・クラブ（RAC）の会員が減少しています。これを何とかしなければならないと、柏RCではガバナー公式訪問例会後のクラブ協議会で、RACの会員を招いて対応策を話し合いました。他の2クラブと合同で提唱していますので、これらのクラブとも良く話し合ってください、RACの再建を図って頂きたいと思います。

インターアクト・クラブ（IAC）も会員がな

かなか増加しません。地区内のIACは高校を基盤としていますから、毎年新入生が入学しますので、なんとか維持できている状況です。

RACもIACも、提唱RCは不断の後援と助言を与え、指導監督すべきです。そして、RAC、IACと一緒に活動をするようにしなければなりませんと思います。RAC、IACが活発になるように期待します。

昨年の規定審議会で、奉仕の第五部門に新世代奉仕が加わりました。この決定を受けて、地区内クラブからクラブの委員会構成に新世代奉仕委員会を設置すべきかどうかとの問い合わせを頂きました。クラブの委員会構成は、クラブの裁量権の範囲内ですから、設置しても設置しなくとも良いのですが、少人数のクラブでは、出来るだけ委員会数を減らす方が良いと思います。クラブを活性化し、新世代のために奉仕しましょう。



国際ロータリー第2790地区

ガバナー事務所: 〒292-0806 木更津市請西東1-5-4 TEL:0438-72-2790 FAX:0438-72-2794

E-mail 11-12gov@rid2790.jp URL <http://www.rid2790.jp>



新世代月間に寄せて

新世代奉仕委員長
委員長 津 留 起 夫

第5の奉仕部門として新世代奉仕が規定審議会で決定した。地区新世代奉仕委員会は、インターアクト・ローターアクト・RYLAの三委員会で構成されている。対象となる年齢は、12歳から30歳までの人生のなかで基本的な考え方を学ぶ重要な時期である。この三つのRI常設プログラムは、それぞれのプログラムセグメントを維持し垂直方向に活動を進めてきたが、RIはプログラムを主体とするのではなく、新世代の若者自体をKEYとする水平方向に舵を切り始めている。つまり、委員会の垣根を取り払い、風通しを良くしようと言うのだ。何が良くなるのか。インターアクターの行事にローターアクターが先輩として関わり、またRYLAの手法をそれぞれの行事に生かすことができる。これをJOINT ACTIVITYというらしいが、活動の相互乗り入れということだ。

ロータリー自体の会員減少は、そのままインターアクト・クラブとローターアクト・クラブの会員減少にも、連動している。16クラブ（内1クラブ休会）、会員数253名。

インターアクト・クラブは、管理主体が高等学校である理由から、提唱RCの関与には制限があるのは致し方のないことである。ここにお互い疎遠になっていく原因があるようだが、定款の精神にそぐわない事態が起きており、地区委員会としても手をこまねてはられない。各クラブの委員会に活動報告書の提出をお願いする危機的な状況になっている。ローターアクト・クラブは、現在9クラブ（内休会1クラブ）、会員数80名。

ローターアクトとの会合は、実に楽しい。忘れてしまった青春の息吹を肌で感じるからだ。ほとんど成人のため例会後の飲み会は年を忘れる。

ある時、例会に出席してみた。4、5人の例会になっており、これで出来るのかと思っていると、滞りなく点鐘で終わる。その時、私のそばにポール・ハリスが確かに座っていたと思う。「会員の少ないことは何でもない。親睦と継続こそが大切なのであり、そのことは100年間で証明されているのだ」といわれたような気がした。とは言うものの多くのロータリアンに、現場をのぞいて見ていただきたい。このままだと絶滅危惧種になってしまいかねない。とにかく会員の増強がほしい。ご自分のご家族や社員の方々を会員にしてみてもはどうだろう。家庭や職場とは違った社会性や特に本人の人間関係が広がることで、広角的な視野で物事を観察することができるようになる。ロータリーの職業奉仕の理念や社会奉仕に対しての積極性はご自身が良くお分かりの事と思うので、心配することはない。ローターアクト・クラブはその延長線上にあるのだから。年次大会や年度納めの最終例会には、パスト会員が多数参加をする。それだけ、恩恵を被った覚えがあるからだと思う。

RYLAは、年1回の開催である。14歳から30歳までの幅広い年齢構成で行われている。本来ならば、20歳未満と20歳以上との区分で2回開催を目指したい。ジュニアとシニアとの区分けである。リーダーシップを養成するこのプログラムは、年代によって演習項目を変えなければならぬからだ。

インターアクトからローターアクトそしてロータリアンとなるように、RIはロードマップを我々に提示している。あるRI理事は、「全ての若者がロータリアンにという期待をせず、これからの社会を担って行く若者を創ることに全力を注ぐのが、第5奉仕部門になった新世代奉仕の役目ではないか」と問いかけている。地区奉仕活動予算の約40%を占めるこの委員会は、次世代を担う若者を育てる機会を与えられている。責任は重い。



RYLAへようこそ

RYLA委員会

委員長 中澤良夫

2月に開催しました第34回RYLAセミナーでは、多くのクラブに御協力いただき誠に有難うございました。

おかげさまで多くの青年達がセミナー修了証を受け取り、素晴らしい笑顔で帰っていきました。

R.Y.L.Aは国際ロータリーの公式プログラムであります。その歴史は1959年オーストラリアの式典に、イギリスのアレキサンドラ王女が訪問された際、ブリスベンRCは王女と同世代の青年達をこの式典に招待して王女と会わせるプログラムを行いました。

青年達の資質のよさに感心したロータリアン達は、この様な催しを毎年行うことを決め、各クラブから2名の青年達をブリスベンに招待して文化、社会、教育などのプログラムに参加させることを決めました。

これがR.Y.L.Aプログラムの誕生です。

(Rotary Youth Leadership Awards)の頭文字をとって、R.Y.L.A.(ライラ)と呼ばれています。Awardには「審査して与える」「受賞する」という意味があり、セミナー修了証を与え、将来の指導者の資質ある者として表彰し、優れたリーダーとなるよう大いに努力して欲しいという意味が含まれています。

このセミナーを通じて、青年達が自己啓発し、指導力を養い良き市民としての資質をのばせるようバックアップすることを目的としています。

日本でも1976年に始まり当2790地区では1978年11月に第1回セミナーが開かれました。今回で第35回目を迎えます。当2790地区R.Y.L.Aプログラムでは歴々の先輩達が苦勞を重ねて練り上げてきた「歩行ラリー」を行ないます。歩行ラリーでは知らない者同士でペアが組まれ、数組をまとめたチーム、数チームをまとめたユニッ

トとして行動します。

そしてペアとしての優勝、チームとしての優勝、ユニットとしての優勝を競いますからコミュニケーション、チームワーク等の「信頼」や失敗を検証して成功を導く方法を体験してもらう能動的なプログラムに仕上がっています。

第35回RYLAセミナーでは16歳から30歳位までの青年達を招待して、2012年2月に一宮少年自然の家を舞台として開催を予定しており、一泊二日の時間を最大限に使い、大いに楽しみ大いに成長してもらいます。

皆様もロータリアンとしてRYLAを体験してみてください。

委員会では主催者側となる実行委員と、セミナーに青年達と参加していただけるロータリアンを募集いたします。

ぜひ、第35回RYLAセミナーには地域社会とロータリー・クラブを結ぶ架け橋ともなる青年達を、多数参加させていただけますよう御協力をお願い申し上げます。





インタラクティブ活力!

インタラクティブ委員会
委員長 平野 一 隆

国際ロータリーにおいて、『新世代奉仕』が五大奉仕の一つに加えられました。本年度は、地区内、クラブ内においても、新世代奉仕が組織として確立した初めての年だと思えます。

昨年まで、インタラクティブ活動は、社会奉仕に組み込まれていました。そこで、社会奉仕について考えてみますと、「地域のニーズに応え、ロータリー的な活動を行う」。それは決して財政的貢献というものだけではなく、「会員が自ら考え、汗を流す」そういったものではないでしょうか。ロータリーの奉仕は、実践哲学です。実践の中で、感じ、学び、寛容の心を養い、その中からリーダーの資質を磨き、人間的な成長を求めていく…そのように理解しております。実際に携わる中でこそ、「何を感じるか」が問われるべきことなのだと思います。

地区内には、さまざまな社会奉仕活動を実践しているクラブがたくさんあります。しかし、その中で、新世代と共に行うプロジェクトが、はたしてどのくらいあるのでしょうか。新世代と関わる活動は、上記の考え方はもちろんですが、それ以上に多くの物が得られると感じております。実際、私も5年間インタラクティブ活動に携わった中で、あっと言う間に変化を見せるインタラクティブ達から新世代の可能性を感じ、忘れていた自分の可能性を思い出し、それが自身の職業への可能性をも呼び起こし、活力を得たことが何度もあります。これが「情けは人のためならず」であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」ということなのではないかと実感しております。

年代格差に戸惑いながらも「新世代達に大切なことを伝えたい」と思い、彼らの前で「超我の奉仕」を実践する。そして実際に共に活動す

ることが、新世代奉仕の醍醐味であり、ロータリー自身自身の自己研鑽のひとつではないかと思っております。

今、地区内には16のインタラクティブ・クラブがあります。提唱率は19%であり、決して高い率とはいえません。活発に活動しているクラブもありますが、残念ながらそうではないクラブもあります。私は今年、提唱ロータリー・クラブに「歴史を紐解き、インタラクティブ設立当時の『熱い思い』を思い出して欲しい」と訴えております。それは、その思いが蘇ることによって、必然的に提唱ロータリー・クラブとインタラクティブ・クラブとの意思の疎通が図れ、理解が生まれ、様々な活動に繋がっていくものと考えられるからです。とりもなおさず、それがクラブの活性化の礎にもなるのではないのでしょうか。五大奉仕になったからと組織図の枠をひとつ増やすだけにとどまらず、地区全体で、そして各クラブで、真剣に『新世代奉仕』の意味を考えてください。どうかインタラクティブ活動に興味を持ち、知ってください。そうした時に、インタラクティブの必要性を感じていただけると確信しております。

『新世代奉仕』についてロータリーの新しい方向性が示された今、インタラクティブ・クラブの提唱をご検討くださいますよう強く希望いたします。現状に閉塞感を感じているクラブにとっても、インタラクティブ・クラブを提唱することは、クラブに活力を与えること請け合いです。我々インタラクティブ委員会の熱い思いが風となり、地区内に吹き渡ることを切に願って止みません。



「共に活動そして絆を」

ローターアクト委員会
委員長 大倉 崇

ローターアクト・クラブは皆様をご存知の様に、18歳から30歳までの若者によって構成され、奉仕活動そのものに目的があるのではなく、奉仕活動を通じて会員一人ひとりの指導力の開発と市民精神の育成を狙っています。次世代の指導者の育成でロータリー・クラブが後援する新世代の組織のひとつであります。提唱クラブの真の「奉仕のパートナー」であり、「ロータリーの家族」の重要な一員でもあります。

ローターアクトが存在する事によってロータリー・クラブのプラス面をあげてみます。

- ① 青少年の健全育成に役立つ、「ロータリアンは青少年の模範」を実行する事が出来る。
- ② 世代間の共同奉仕・親睦によって青少年との間に必然的に相互理解が生まれる。
- ③ ロータリーの広報として十分に役目を果たす。
というのはローターアクトは地域に密着した奉仕活動を行っています。

今年度の地区活動として環境を取り上げます。

- ① 里山体験として千葉南RC主催の里山の集いに参加。
- ② 地区大会の「青少年の集い」の環境模擬国連に参加。

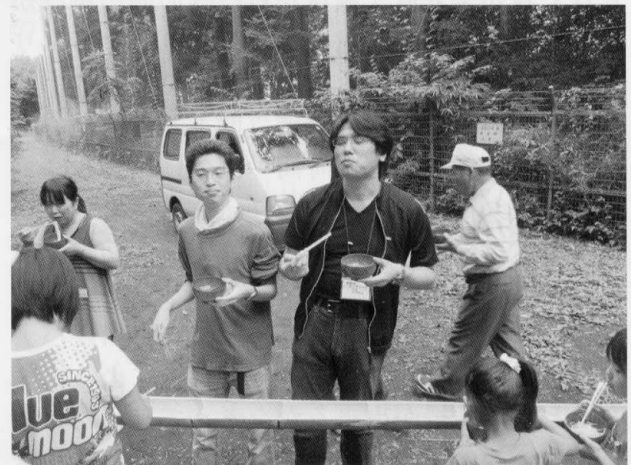
専門知識活動では献血施設見学、AED講習会等を通じて、専門知識を得て奉仕に繋がる。また、バンコク国際大会のローターアクト会議の出席を勧め、参加型ワークショップと講演を通じて世界各地のローターアクターとの交流を深める。

ローターアクトを指導する事によって、逆にロータリー・クラブが活性化される事にもなります。それは将来においてロータリー・クラブ会員増加にもつながる事と思います。

将来のロータリアン候補として各クラブにい

くつかのお願いがあります。

- ① 絆を強めるために互いの例会・行事への出席。
- ② 共同奉仕プロジェクトの実施。
- ③ 提唱ローターアクト・クラブへの指針や指導を与える。





週1回の例会での心得

社会奉仕委員会
委員長 菅 井 直 秀

私共2790地区の社会奉仕の活動は各クラブに素晴らしい実績があります。クラブ社会奉仕委員会、環境委員会共に然りです。今までの通り、目的意識を持って社会奉仕活動の実績を続けて戴きたいと思います。

奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みからなるものがあります。ロータリアンとしてひとりひとりの会員がロータリーの思想を体得して行動する事が社会奉仕の実践だと思えます。いろいろと諸先輩の考え方、ご意見があると思えますが、ロータリーの思想とは、例会に出るごとに人のふり見て我がふり直す謙虚な自己への問い掛けがなければならないと思えます。それがロータリアンの親睦に参加する事ではないでしょうか。親睦の第一義は、自己研鑽（向上心の人）であると思えます。一週一時間の例会に出席し、毎週自分の人格を磨く機会が与えられ、磨くことによって自分自身が良質化され、その功績は無限に地域社会に及ぼして行くことだと思えます。

今期は新しい事をして下さい、と山田ガバナーの希望もあります。東日本大震災による被災者にどんな応援が出来るかを考えてほしいと思えます。この度の義捐金、ボランティア活動は被災者の皆様と同じ気持ちになり、共に傷みを分かち合う事でなければならないと思えます。これを本年度も行い続けていく事を祈願しております。そしてロータリーとして強力なメッセージを伝えたいと思っております。

奉仕の理想とは「理想に向かって進む心」を言っていると思えます。こういう向上心の人、奉仕の理想の世界にいる人が、真のロータリアンだと思えます。例会は自己研鑽を通じて、その功德を地域社会に及ぼしていく教育の場があります。ロータリーの奉仕の基本は自分も育ち、人も育てることにあると思えます。これらの目標で一年間頑張りますので、ご協力をせつにお願ひ致します。



クラブ社会奉仕委員会
委員長 石 井 博

今年度、社会奉仕委員会の中に新たにクラブ社会奉仕委員会が作られました。これは決議23-34には毎年度、何か一つの主だった社会奉仕活動を、それもなるべく毎年異なっていて、出来ればその会計年度に完了できるようなものを後援することが望ましいと書かれています。これはクラブで団体として行うものであり、個人での社会奉仕活動は含まれないと解釈します。私も他人からは社会奉仕活動といわれるようなことをしていますが、クラブで行っているわけではありませんのでカウントできません。

各クラブで昨年度、実際に行った社会奉仕事業を見ますとそれぞれ数多くの立派な社会奉仕活動をされています。その上で新規のプロジェクトを考えて頂きたいと言うことですので、かなり大変とは考えられますが、各クラブそれぞれ実情は異なりますので、地域にあったものを採用して頂ければと思います。

前年度の3月に東日本大震災が発生いたしました。千葉県でもかなりの被害が発生し、人的被害も起こりました。ロータリー・クラブとしてガバナーより寄付金の要請もあり、その一部が第2790地区にも回ってきています。地区に回ってきたものは地区内で、この活用方法は社会奉仕委員会にとり、今までにない活動の範囲がかなり広がったのではないかと考えています。被災された地区にいる方は他人どころではないと言うのが実情かもしれません。こうしてほしいと言う内容を発信し、災害を運よく免れた地区の会員が、被災しないだけ良かったと活動できれば良いのではないのでしょうか。



環境委員長就任にあたり

環境委員会

委員長 山内 みどり

この度、2011-12年度 社会奉仕委員会の小委員会であります、環境委員会委員長を仰せつかりました山内でございます。昨年度、環境委員会の委員として活動させていただきましたが、不勉強で委員長が務まるかどうか不安ですが、菅井社会奉仕委員長をはじめ委員会の皆様方のご指導をいただき、活動を進めてまいりたいと思っております。

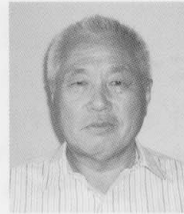
東日本大震災により、多くの方々が被災をされました。我々の仲間でありますロータリアンも被災され、活動が儘ならない状況と伺っております。また復興までに長期化するであろうと言われております。ロータリーとして復興支援に何ができるのか、ロータリーらしい支援の道を探っていかなければならないと思えます。

R Iの社会奉仕活動の特に関心の高いものとして、環境保全を掲げております。その中にはロータリアンの責務として、地球が人類の好ましい場所として生き残ることができるよう、環境の保全と改善に重点を置くべきとされております。

まずはロータリアン個人が各々その生活の分野で、環境に対する意識を高め取り組むことにより、その活動が一般地域社会に対し指導力を発揮し、より良い社会をつくる先達にならなければならないと思えます。

環境委員会も2010-11年度に創設され、2年目となります。ロータリアンとロータリー・クラブが地域社会とともに様々な場面で何をなすべきか…。今年度環境委員会といたしましては、地球環境の保全と改善に対する意識向上にむけ、取り組んでまいります。

浅学非才ではございますが、皆様のお力添えをいただき努めてまいりますので、何卒ご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。



広報・IT活動とは!

広報・IT委員会

委員長 石田 善一

長年ロータリーに於ける広報活動に対し、多くの意見が有りました。奉仕活動に対し、一般に話す事では無く無我の世界で行う事と言われて参りました。ところが、ここ数年R Iからの指導によりロータリーの活動を社会に広報として広め、新たな活動拠点の展開を図る事が大事な要素と言われております。ロータリーの歴史の中で、多くのプログラムが作られ実践されて参りました。社会奉仕活動は各クラブが色々と思いを考え、一般の人の協力を得て実践しております。青少年奉仕活動も出前教室など、ロータリーメンバーが日々の経営実践の中からの事を教えております。言いかえれば、職業奉仕活動の実践版と言えます。

国際奉仕活動は若い情熱の有る人達が海外での勉学の為に支援を行い、国際感覚の中で世界の人達と共栄の出来る社会を目指しております。又海外より日本に留学されている人には優しく勉学の出来る環境の手助けをしております。ロータリーは国境を取り払い、あらゆる人達に温かい手を差し伸べております。その日々の奉仕活動を具体的に地区内メンバーに知らせ、クラブが取り組もうとしている事業の一つのヒントになり、新たな事業展開が出来ればと思えます。

各地域に於いてロータリーの事業展開を紹介する事で多くの人達に奉仕活動を理解して頂けるきっかけになる事を願っております。

地域では地元コミュニティを活用している事と思いますが、今年度、特に一般への広報活動の充実と地区ホームページの活用を元に日々の各クラブの活動を紹介して地域との連帯感を作り上げる事が大事と思えます。青少年が新たな活動を求める為の一つのきっかけになる事を願っております。

各クラブではここ数年来、会員の減少は深刻な問題です。閉鎖的活動は会員増強にはつながりません。地区内すべてのクラブの活動をお知らせ下さい。委員会では新たな広報活動として各クラブの活動を紹介してヒントになる事が出来ればと取り組みを考えております。

是非ともご協力宜しくお願い致します。



研修の重要性について

クラブ研修委員会
委員長 浜 名 賢 一

● 昨年の規定審議会で、各クラブに研修委員会を設置するよう奨励することが決まりました。皆様のクラブではいかがでしょうか。

● 地区クラブ研修委員会は、皆様のクラブがクラブのリーダーを育てるためのヒントや情報をお伝えし、クラブ運営の充実が図られるようお手伝いしてまいります。

● 皆様は、当地区ガバナー事務所、国際ロータリー、そしてロータリージャパンのホームページを活用していらっしゃるでしょうか。そこには必要不可欠な情報はもとより、ロータリアン生活を豊かにするさまざまな事柄が掲載されています。ぜひ週に一度はご覧いただくようお願いいたします。

● 研修というと堅苦しくなりがちですが、知ることは楽しむことにもつながります。それがクラブの活性化や、ひいては会員増強にも役立つものと思います。

● クラブ研修委員会は、12月10日にクラブ研修セミナーを行います。そこでは、ロータリーを知るためのさまざまな手だて、そして知ることので何が違ってゆくのか、講演とそれに基づく皆様の話し合いを通じて、ロータリーの楽しさを学ぶ場にしたいと思っております。各クラブのクラブ奉仕委員長・研修委員長の皆様にご参加いただくようお願いいたします。詳細は追って各クラブ宛ご案内いたします。

● 皆様は「RLI (ROTARY LEADERSHIP INSTITUTE)」という多地区合同プログラムをご存知でしょうか。ロータリーの研修の一手法として、すでに250余りの地区で実施されています。主にこれからクラブのリーダーになる方を対象にしたプログラムです。当地区では導入の検討が始まったところですが、関心のある皆様は第2750地区等近隣で実施されている研修プログラムに参加することが条件付ですが可能です。ご希望の方は9月20日までにご連絡ください。(Eメールk.hamana@rid2790.jp) 要綱等をご紹介します。よろしくようお願いいたします。



ご協力お願いします！

ロータリーの友 地区代表委員
鈴木 正 弘

● 2011-12年度のR I 第2790地区、山田ガバナーよりロータリーの友地区代表委員に任命された木更津東ロータリー・クラブの鈴木正弘と申します。任命された当初は戸惑いを感じましたが、4月24日に開催されたR I 第2790地区の地区協議会で、2010-11年度の『友』地区代表委員であった宮崎さんに声をかけて頂き、7月1日に開催されたオリエンテーションに於いて様々な情報を習得して参りましたが、それに先立ち、山崎さんより資料を送っていただき大変参考になりました。これらの情報をもとに、1年間の任期を全うしたいと思いますので宜しくお願い致します。地区代表委員の役割としては、山田ガバナーと「ロータリーの友」と「ロータリージャパン」に関して意思の疎通をはかり、「ロータリーの友編集委員会」で山田ガバナーの代理として建設的な提言をするために、「ロータリーの友」に関する情報を共有することに努めます。また地区における任務としては、前年度の宮崎さんからの申し送りもあるので、出来ればガバナー補佐会議などにもオブザーバーとして出席させていただき、R I 第2790地区内の会員の皆様に「ロータリーの友」誌他の出版物についての有効な活用促進に努め、またR I 第2790地区内のロータリー・クラブの活動やその他の編集上有用な情報収集に努め、その情報を友事務所に送り、それをもとにした取材に協力することにより「ロータリーの友」誌の編集に協力することに努め、また「ロータリーの友」に関する情報を山田ガバナーと共有することに重点を置きながら活動をしていきたいと思っておりますので、1年間、当地区、各クラブの会長、幹事ならびに雑誌委員長の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

年次寄付 (ポール・ハリス・フェロー)

 森 二郎 (流山RC) 7回目	 森川幸子 (流山RC) 5回目	 石井賢徳 (習志野RC) 5回目
 由川久子 (習志野RC) 1回目	 平山博己 (習志野中央RC) 1回目	
 吉田裕成 (千葉南RC) 13回目		

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

 平山金吾 (成田RC) 16回目	 吉田裕成 (千葉南RC) 13回目	 原 勝美 (四街道RC) 10回目
 小林通成 (習志野RC) 4回目	 椎名博信 (習志野RC) 3回目	 村山勝己 (四街道RC) 2回目
		 中村博亘 (柏西RC)

大口寄付

米山記念奨学会寄付

米山功労者

 平山金吾 (成田RC) 55回目	 原 勝美 (四街道RC) 11回目	 小林通成 (習志野RC) 10回目	 木村貞夫 (銚子東RC) 10回目	 千葉英隆 (市原中央RC) 6回目
 藤井 毅 (佐倉RC) 6回目	 設楽正行 (成田RC) 4回目	 宮間 尊士 (千葉幕張RC) 3回目	 杉山芳夫 (習志野RC) 3回目	 平山博己 (習志野中央RC) 2回目
 椎名博信 (習志野RC) 2回目	 由川久子 (習志野RC) 2回目	 石井賢徳 (習志野RC) 2回目	 船木幹夫 (千葉港RC) 1回目	

新ロータリアン(敬称略)

 明瀬陽子 (大網RC) 飲食店・マリススポーツ 7月1日入会	 江幡清子 (千葉南RC) 不動産管理 7月1日入会	 鈴木重信 (大原RC) 種苗販売 7月1日入会	 森本 功 (佐倉RC) 歯科医 7月1日入会	 鈴木芳和 (旭RC) 板ガラス工事 7月2日入会
 粉川義弘 (千葉RC) 証券業 7月4日入会	 澤村博史 (千葉RC) ビルディング管理 7月4日入会	 山口直人 (千葉RC) 損害保険 7月4日入会	 児玉秀一 (館山RC) 印刷 7月6日入会	 黒子高志 (習志野RC) 商業銀行 7月6日入会
 鈴木 崇 (船橋東RC) 証券業 7月7日入会	 高橋 勝 (習志野中央RC) 不動産貸付 7月7日入会	 瀧 照正 (船橋東RC) ネット販売 7月7日入会	 平井賢俊 (流山RC) 社会保険労務士 7月7日入会	 藤本俊男 (千葉港RC) 歯科医 7月7日入会
 村田紀之 (千葉南RC) ホテル・旅館 7月8日入会	 堀 猛 (銚子東RC) 信用組合 7月12日入会	 山之口國雄 (八街RC) 屋根工事 7月13日入会	 伊藤 恵 (木更津RC) 為替銀行 7月14日入会	 松崎洋仁 (木更津RC) 電話事業 7月14日入会
 高橋 聡 (旭RC) 料理店(中国) 7月15日入会	 吉野 裕 (成田RC) 地方外国為替銀行 7月15日入会	 釜谷藤男 (銚子東RC) 行政(地方公務員) 7月19日入会	 猪股貴久 (松戸RC) 地方銀行 7月20日入会	 加瀬 仁 (成田RC) 地方商業銀行 7月22日入会
 福田昭浩 (銚子東RC) 普通銀行 7月26日入会	 旭日双光章 (敬称略)	 小関邦夫 (旭RC)	 瑞宝双光章 (敬称略)	 山崎義人 (成田RC)

2014-2015年度 ガバナー候補者推薦のお願い

国際ロータリー第2790地区
 ガバナー 山田 修平
 地区指名委員会
 委員長 白鳥 政孝

国際ロータリー細則第13.020.4項により、2014-15年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニエ候補者の推薦を希望するロータリー・クラブは、2011年10月31日までに地区ガバナー指名委員会委員長宛（第2790地区ガバナー事務所気付）に文書を以てご推薦くださいますようお願い致します。推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

なお、ガバナー指名委員会委員長がその選択をするにあたっては、その選択範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。（国際ロータリー細則第13.020.5項）ガバナー・ノミニエの資格条件は、国際ロータリー細則第15.070項をご参照ください。

行事予定 (9月)

8日(木)・9日(金)	ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS)	グランドプリンスホテル新高輪
10日(土)	R平和フェロー第10期生オリエンテーション・歓迎パーティー	
11日(日)	米山記念奨学生とロータリアンの合同懇親会	SKYWINDOWS東天紅
12日(月)	地区大会記念ゴルフ大会	木更津ゴルフクラブ
13日(火)	地区研修リーダーのためのセミナー (DTLS)	グランドプリンスホテル新高輪
15日(木)～18日	第24回インターアクト国外研修	大韓民国馬山市
17日(土)	ロータリー・コーディネーター・セミナー	塩竈市ホテルグランドパレス

例会会場変更のお知らせ

第2分区「船橋東ロータリー・クラブ」は、三井ガーデンホテル船橋ららぽーとの閉館に伴い2011年8月1日より例会場が下記に変更となります。

セミナーハウス「クロス・ウェーブ船橋」

〒273-0005 船橋市本町2-9-3 TEL 047-436-0111 FAX 047-436-0112

物故会員

(敬称略)



石崎 良行 (旭RC)
 逝去日：2011年6月29日 (享年71歳)
 入会日：1987年
 ロータリー歴
 1995-96 クラブ幹事



板橋 長吉 (松戸東RC)
 逝去日：2011年7月17日 (享年77歳)
 入会日：1972年7月
 ロータリー歴
 1992-93 クラブ会長
 1992 ベネファクター
 1999 米山功労賞
 2001 ボールハリスフェロー



岡澤 立雄 (佐原RC)
 逝去日：2011年7月12日 (享年80歳)
 入会日：1973年4月
 ロータリー歴
 1979-80 クラブ幹事
 1990-91 クラブ会長
 地区委員15回
 ガバナー補佐
 ボールハリスフェロー
 米山功労者



畑 徹 (鎌ヶ谷RC)
 逝去日：2011年7月28日 (享年83歳)
 入会日：1971年11月
 ロータリー歴
 1976-77 クラブ会長

R.I. 第2790地区(千葉)2011年7月出席・会員数報告

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第1分 区	市川	100.00	4	47	0	47	0	0
	市川東	100.00	4	41	0	40	0	-1
	市川南	85.10	4	16	1	16	1	0
	浦安	88.30	5	42	0	42	0	0
	市川シビック	80.19	3	36	0	36	0	0
浦安ベイ	76.00	4	21	0	21	0	0	
第2分 区	船橋	98.86	4	23	0	23	0	0
	船橋西	89.50	5	45	4	46	4	1
	鎌ヶ谷	87.06	4	25	2	24	2	-1
	船橋東	92.30	4	26	2	29	2	3
	船橋南	88.75	4	21	2	22	2	1
船橋みなと	82.29	4	26	7	25	7	-1	
第3分 区A	千葉	93.45	3	65	0	68	0	3
	新千葉	88.36	4	49	0	49	0	0
	千葉西	87.50	4	50	4	50	4	0
	千葉中央	83.09	4	36	0	36	0	0
	千葉幕張	81.34	4	34	4	34	4	0
	千葉東	81.50	3	32	4	32	4	0
千葉若潮	83.12	4	29	0	29	0	0	
第3分 区B	千葉南	86.29	5	34	4	36	5	2
	市原	86.36	4	43	3	44	3	1
	千葉港	72.62	4	28	0	29	0	1
	市原中央	84.06	4	51	1	51	1	0
	千葉北	86.81	4	23	1	24	1	1
千葉緑	100.00	4	25	2	25	2	0	
第4分 区	木更津	88.84	4	41	4	43	4	2
	上総	88.15	4	18	0	20	0	2
	富津	91.67	4	16	1	17	1	1
	富津中央	82.43	4	20	0	20	0	0
	木更津東	90.98	4	44	0	44	0	0
	君津	95.29	3	34	2	40	2	6
	袖ヶ浦	92.59	3	26	3	27	3	1
	富津シティ	85.40	4	17	0	17	0	0
第5分 区	館山	86.55	4	52	3	53	3	1
	鴨川	78.33	3	29	4	29	4	0
	勝浦	83.56	4	38	5	38	5	0
	千倉	84.30	5	15	1	15	1	0
	鋸南	92.40	4	14	1	14	1	0
館山ベイ	71.59	4	22	0	22	0	0	
第6分 区	茂原	87.89	3	58	2	58	2	0
	東金	88.09	4	21	0	21	0	0
	大原	80.40	4	15	1	15	1	0

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第6分 区	大多喜	72.85	4	11	1	11	1	0
	成田空港南	90.96	3	40	0	41	0	1
	茂原東	82.61	4	23	2	22	2	-1
	茂原中央	78.41	4	23	2	23	2	0
	大網	68.75	4	32	3	32	3	0
東金ビュー	75.90	4	27	1	27	1	0	
第7分 区	銚子	91.89	4	42	2	42	2	0
	旭	100.00	4	38	1	39	1	1
	八日市場	87.50	4	46	2	46	2	0
銚子東	86.70	4	29	0	36	0	7	
第8分 区	佐原	80.90	4	48	0	47	0	-1
	多古	92.31	3	15	0	15	0	0
	小見川	91.25	4	20	0	20	0	0
佐原香取	83.33	3	26	0	26	0	0	
第9分 区	成田	79.43	5	58	0	60	0	2
	八街	86.91	4	36	1	39	1	3
	印西	78.23	4	26	0	26	0	0
	白井	87.00	3	15	0	15	0	0
	富里	89.96	4	28	0	28	0	0
成田コスモポリタン	76.08	4	60	0	60	0	0	
第10分 区	柏	85.10	4	45	8	46	8	1
	我孫子	85.00	4	25	0	25	0	0
	柏西	67.79	5	51	3	53	4	2
	沼南	96.25	4	20	1	20	1	0
柏南	93.00	4	29	4	29	4	0	
第11分 区	習志野	72.29	4	35	1	35	1	0
	八千代	90.00	5	49	0	49	0	0
	佐倉	67.86	4	13	2	14	2	1
	八千代中央	79.10	4	27	0	27	0	0
	四街道	75.00	4	22	3	22	3	0
	習志野中央	80.95	4	41	6	42	6	1
	佐倉中央	61.53	4	13	2	13	2	0
第12分 区	松戸	86.93	4	51	0	52	0	1
	松戸東	95.05	5	53	0	52	0	-1
	松戸北	88.60	4	35	0	35	0	0
	松戸中央	82.82	4	37	3	37	3	0
松戸西	79.35	4	22	0	23	0	1	
第13分 区	野田	88.00	3	50	4	50	4	0
	流山	83.75	4	19	4	20	4	1
	野田東	81.25	4	32	0	32	0	0
	流山中央	66.67	4	21	2	21	2	0
	野田セントラル	85.00	4	25	0	25	0	0

クラブ数	84R.C.	2011年7月1日	地区会員数	2,706人	当月平均出席率	85.55%
		2011年7月末日	地区会員数	2,748人	増減	42
		2011年7月1日	地区女性会員数	126人	女性会員増減	2
		2011年7月末日	地区女性会員数	128人		

ガバナー月信Vol.2 8月号の訂正 行事予定
 正 8月7日 ロータリー財団委員会・地区セミナー・奨学生候補者
 オリエンテーション 京葉銀行文化プラザ於
 訂正して謹んでお詫び申し上げます。

9月のロータリーレート

78円

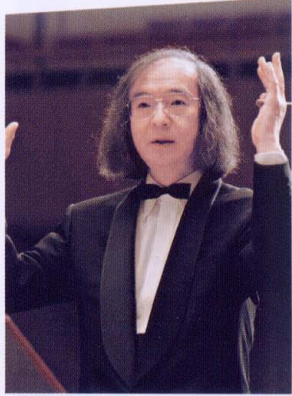
歴史と情緒の街、木更津をご満喫ください。

とことん学び
とことん楽しむ

テーマ「ロータリーの魅力探訪」

● 第1日目 11月5日 (土) ●

RI 会長代理歓迎晩餐会 / オークラアカデミアパークホテル



● 東邦音楽大学ジャズ・オーケストラ 指揮 加古 勉 (通称：ミッキー加古と東邦スウィング・バスターズ)

2001年10月に結成。このオーケストラは、オーソドックスなビッグバンドの編成とは異なり、トランペット10、トロンボーン8、サクセス8、チューバ、ギター、ピアノ、ドラム、ラテンパーカッションで構成されており、総勢30名を超えるメンバーで迫力のある演奏を行っている。これまでに「東邦祭」「浅草音楽祭」「千葉県鋸山コンサート」「茅ヶ崎エメロード音楽祭」「文京カレッジコンサート」「川越ジャズ・フェスティバル」など様々なイベントに出演。レパートリーは、ジャズ・ラテン・ロック・バラード・演歌など100曲近くにのぼり、様々なニーズに対応し各方面より好評を得ている。モットーは“真面目に&楽しく!”



指揮 加古 勉

東京藝術大学卒業(1976年)。アメリカ留学(1976~80年)。現在「東邦音楽大学大学院教授」「東邦音楽大学管弦打主任教授」「東邦音楽大学演奏選考委員会委員長」「東邦音楽大学ジャズ・オーケストラ指揮者」「東邦音楽大学プラス・クアリア指揮者」「東京アーバン・プラス・アンサンブル・トランペット奏者」「東京シンフォニック・プラス指揮者/音楽監督」「日本プラスバンド指導者協会理事/演奏技能検定委員会委員長」「日本トランペット協会副理事長」他。

● インド古典舞踊 ティラナ (Tilana Tokyo)

インド古典舞踊 ティラナ (Tilana Tokyo) は、2007年7月31日に結成されたインド古典舞踊のサークルです。師である故・小澤陽子さんの舞踊とその哲学を継承し、それを広く発信していくことを目的として、日々の研鑽を中心として活動を行っています。



● 第2日目 11月6日 (日) ●

「昼憩いの時」・「友愛の広場」 / かずさアカデミアホール

● 木更津第一小学校「たぬきばやし」

童謡「証城寺の狸ばやし」は月夜の晩に寺の庭で小狸たちが腹鼓をうって楽しく踊る狸の輪に和尚も加わり仲良く踊った。という伝説を野口雨情が作詞、中山晋平が作曲したものです。

この童謡に合わせた踊りが大正14年に創作され、以来、木更津第一小学校の児童に受け継かれ、学校内に「たぬきばやし保存会」が設立されました。

毎年、10月には証誠寺において「たぬきまつり」が行われ、ここで児童による踊りが披露され市民に親しまれています。



● 喜古旬美 ミニコンサート

1986年東京都生まれ。小学生の時入部した吹奏楽部にてサクソフォンと出会う。

2005年、東邦音楽大学音楽学部音楽学科(サクソフォン専攻)入学。在学中、定期研究発表演奏会の代表として出演。2009年、同大学を卒業。同年、渡仏し、オルネイスーボワ国立音楽院高等科に入学。在学中、フランスにて、ジェローム・ララン氏率いるサクソフォンアンサンブル"CONTINUO"のメンバーとして、フランス各地でのコンサートに参加。

2011年、同音楽院を最優秀賞で卒業(ディプロム取得)。これまでに、松雪明、下地啓二、佐々木雄二、平野公崇、ジェローム・ラランの各氏に師事。



「大懇親会」 / かずさアカデミアホール

● 東邦音楽大学ジャズ・オーケストラ (通称：ミッキー加古と東邦スウィング・バスターズ) 指揮 加古 勉

名水の郷、地元かずさ地域
八蔵の地酒をご堪能ください!!

